

特定非営利活動法人お口の健康ネットワーク 第9回理事会議事録

1. 日時 平成25年4月7日(日) 9:00~11:30
2. 場所 岡山大学歯学部第一講義室(岡山市北区鹿田町2-5-1)
3. 開会 定足数報告
理事総数、出席者数、出席者名は以下の通りである。
理事総数:19名、出席者数:14名
出席者名:磯崎篤則、木村年秀、草野栄路、楠本雅子、黒瀬真由美、小畑文也、小松原新二、
津野敬一朗、中村宗達、長浦寛子、宗形信司、森田学、守屋啓吾、渡邊達夫
オブザーバー:事務局スタッフ 草野俊道
4. 理事長挨拶
渡邊理事長より第9回理事会議案の報告と審議をお願いしたい旨の挨拶があった。
5. 議事録署名人選出
議事録署名人は黒瀬真由美、小松原新二とすることが提案され、承認された。
6. 報告事項
 - 6-1. 会員数
事務局:お手元の資料をご覧ください。会員数は平成25年4月5日現在で533となっております。今期の会費未納が62件あり、文書等で納入をお願いしているところです。
 - 6-2. 認定歯科衛生士申請状況
事務局:認定歯科衛生士申請一覧をご覧ください。今回の理事会までに認定歯科衛生士登録申請があり、書類要件が整った会員が16名です。
 - 6-3. 活動状況及び収支状況
事務局:収支状況については別紙をご覧ください。いくつか未計上の科目がありますが、現在黒字で推移しています。
 - 6-4. 保険収載推進委員会
 - 6-4-1. これまでの活動について
小畑理事:別添資料「保険収載の流れと課題」をご覧ください。今年度の医療技術評価提案書の提出に磯崎先生の研究が間に合わないが、提出は行いたい。
 - 6-4-2. 歯科衛生士会への協力依頼、片山さつき議員訪問について

渡邊理事長：歯科衛生士会金澤会長及び、鶴見大学の松田先生にも協力依頼を行った。

事務局：渡邊先生に片山さつき参議院議員に会っていただいたが、まだ俎上に載っていない段階なので、まずは学会を通して書類が提出されることが大前提となります。

6-4-3. 今後の活動について

本項目は、審議事項にて取扱うこととした。

6-5. 磯崎スタディについて

磯崎理事：朝日大学歯学部附属村上記念病院における臨床実験について、3月15日に口腔外科の移転があった関係もあり、スタートが遅れた。渡邊先生に糖尿病担当医に対してつまようじ法の説明と体験をしていただき、好感触であった。具体的には、糖尿病患者に最初2週間は週に2回、その後は週に1回、トータル3ヵ月に渡ってブラッシングを行う。20歯以上ある患者を来週から20人募集する。臨床検査に係る費用・交通費等も含めて約550万円の予算が必要。

6-6. 韓国での普及について

渡邊理事長：H24年10月に張起完教授他から招待を受け、韓国で講演会を行った。

事務局：つまようじ法に関して、H24年10月に天安市・ムン歯科病院、大韓臨床予防歯科学会にて小畑先生に講演していただいた。H24年11月には大韓審美歯科学会にて黒瀬先生に講演をしていただいた。また、実際に行っている歯科医院を見学したいという希望もあり、小畑歯科医院ではこれまでに3回韓国からの見学団を受け入れていただいた。

6-7. 新パンフレット、マッサージ効果の動画作成について

事務局：お口の健康ネットワークの新パンフレット作成、マッサージ効果解説の動画作成について、渡邊先生の監修のもと検討を進めています。

6-8. 東日本大震災復興支援について（楠本、黒瀬）

黒瀬理事：楠本先生と亘理町を中心に活動しているが、ブラッシング時の出血がなくなっていたり、つまようじ法のファンになったりする人もいる。株式会社ピー・エム・ジェーからV-7の協力も受けている。今後も継続していく予定である。

6-9. 歯科衛生士学校での普及活動について

渡邊理事長：H24年11月に愛知学院短期大学にて、長浦理事と共に講演と実習を行った。今後歯科衛生専門学校での普及活動を拡大していきたいので、連絡可能な大阪、神戸、福岡、鹿児島島の歯科衛生士学校にも声を掛けてみたい。

6-10. その他

特に報告は行われなかった。

7. 審議事項

7-1. 認定歯科衛生士の承認

認定歯科衛生士の登録希望者 16 名について審査を行ったところ、すべて条件を満たしているものとして全員異議なくこれを承認した。

7-2. 理事会・総会の開催日程

次回理事会及び通常総会は平成 25 年 9 月 8 日（日）にさいたま市にて開催することで決定した。

宗形理事：会場は埼玉の歯科医師会館を予定し、歯科医師会を通じて集客も行いたい。同日午後開催予定の講演会講師については、同じ三郷市で開業している小島先生にお願いしている。参加者へのお口の健康ネットワークの PR を行うことも考えると、2 時間では終わらないかもしれない。

7-3. 保険収載推進委員会の今後の活動について

関係学会からの医療技術評価提案書提出内容等について審議を行った。

中村理事：磯崎先生の研究が間に合わなくても、国は糖尿病対策には非常に敏感なので、糖尿病というキーワードは必要ではないか。

7-4. 認定制度（認定医療機関）について

津野理事から提出された「つまようじ法認定医療機関 案 10」に基づき、審議を行った。一部文言等について「認定医療機関」を「認定歯科医療機関」とするなどの修正点があり、それを踏まえた条文を 9 月の理事会までに作成することとなった。

津野理事：認定医療機関の認定証は、Eメールで送付しプリントアウトして利用するほうがいいのではないか。

7-5. 次回会報について

会報の巻頭言について、今後も理事間での持ち回りにて執筆することについて了承を得た。

7-6. 学会等での発表について

渡邊理事長より、今後口腔衛生学会や歯周病学会での発表を行うにあたって、各理事への協力要請があり、了承された。

7-7. その他

黒瀬理事：認定歯科衛生士の退会は予想外だった。認定歯科衛生士取得時に、認定歯科衛生士としての活動についての説明及び意思確認が必要ではないか。

又、休止制度があってもよいのではとの意見が出され、検討課題とした。

小畑理事・津野理事から、担当理事及び各種委員会についての役割・権限等の明確化を行

いたいとの意見が出され、検討課題とした。

小畑理事・黒瀬理事から、研修会(4月)の歯科衛生士の会費が高いとの意見が出された。